

ひな市楽しかった!

文化 なかの

中野市公民館報

2009

No.50
(通巻No.582)

5

発行
中野市中央公民館

編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025

中野市三好町一丁目4番27号

TEL 0269-22-2691

FAX 0269-26-2342



～自分たちでつくった灯笼びなと一緒に記念撮影～

灯笼びなをつくって

ひな市に参加しよう

中央公民館では、子ども育成事業「灯笼びなをつくってひな市に参加しよう(全4回)」を開き、3月31日のひな市に参加した。

子ども達に「地域の伝統的な工芸品である、土びなについて学び、ひな市に参加することで、春の訪れをつげる祭りを味わってほしい」と願って企画した。

参加者は市内の小学生(小1～5年)10名で、春休みを利用して制作し、灯笼びなを担いで、「ひな市」を思いっきり楽しんだ。

子ども達からは「重かったけど、皆で担いで頑張れて良かった」「ひな市に出ることを楽しみに待っていた」との声が聞かれた。

今月号の特集

市編集委員
体験取材

あおぞら

この原稿を書いている(4月中旬)時点の話だが、市内では枯れ草火災など、数件の火災が連続して発生している。季節はサクラ満開の春

爛漫。春を楽しみたいところが、地元で、しかも連続して火災が発生したとあつては、消防団員の自分としては、お花見どころではない。消火、夜警と、消防団員としての活動が待っている。

なかでも特にきついのが夜警だ。火災の当日は、消火活動の後、朝まで団員3名程度が順番に、現場にて待機し警備にあたる。その後は2日程度、消防詰所にて朝まで待機し、夜10時、1時と地区内、火災現場を1時間程度歩いて巡視する。そして朝仕事に行く。

そんな生活が1週間も続けば精神・体力的に正直きつい。団員としては「カンペンではないか」というのが本音ではないか。しかし約20名の団員は、不平も言わず消防活動に従事していた。使命感なのか、地域に対する思いなのかは、分からない。

だが有事の際の団結力と、心強さを改めて感じた春だった。(ヤマセンコー)

● 市民書道展 ● 中高分館役職員研修会

力作出そろそろ市民書道展

書道愛好家の技術向上と文化普及を目的に、第28回中野市民書道展が3月31日、4月1日の2日間、中央公民館講堂で開かれた。

今回は市内小・中学生や愛好者、書道グループなど184人（一般40、小・中学生144）の作品が展覧された。審査会の結果、93人が入賞した。一般の部の入賞者は左記の通り。



子どもたちの力作も144点出品されました

【中央公民館長賞】

小林 和代

【書道如水会長賞】

白井 和美

【特選】

黒川 洋子
田川 八重子
寺沢 愛子

【秀作】

阿部 直美

荒井 二三子

小野 清美

島田 喜勢子

下村 登志子

【入選】

黒川 めぐみ
小林 里江

佐藤 初美
佐藤 雪子
塚田 美紀
中村 久子
町田 治子
宮本 朋也
養田 敏子
吉家 民子

意見交換が大切、中高分館役職員研修会

中高分館役職員研修会が4月25日、木島平村公民館で開かれた。

中高地区（中野市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村）の公民館分館職員約80人（中野市30人）が一堂に会し、これからの分館活動の在り方などを話し合った。

「町内会・自治会活動について」をテーマに長野県短期大学の築山秀夫さんが講演し、

地域づくりにおける公民館活動の重要性などについて語った。参加者はメモを取りながら、一生懸命に耳を傾けていた。

分散会では各地域の公民館分館役職員による活動報告が行われ、「分館報の編集」をテーマにした分科会がそれぞれの会場で行われた。

私が参加した分科会では、信濃毎日新聞社読者センター長の津金直行さんから、分館報づくりのコツを学んだ。レイアウトや見出し、写真の使い方といった技術的な話のほか、発行した分館報を見ながらのアドバイスがとても勉強になった。

分館報 編集担当者が集まった分科会

中高分館役職員研修会について、主催の中高公民館運営協議会で、開催日と内容などについて様々な意見が出ているが、今回の研修会に参加したことで、役員同士が意見交換できる場の意義や大切さを感じることができた。



● 中野市シニア大学

楽しい学びの場を、中野市シニア大学



生の演奏は「素晴らしい」と評判

中央公民館の平成21年度中野市シニア大学が4月23日、開講した。
急速な社会変化と高齢化社会を迎える中、高齢者の学習意欲の向上や、仲間づくりの場を提供する目的。今年度は講演会、音楽鑑賞などの講座が16回。受講生の希望によるクラブ活動を6回予定してい

る。
開講式後の初回は「若草コンサート」と題し、「長野フィル音楽ボランティア」「ハーモニー」による演奏会が開かれ、受講生全員で合唱も楽しんだ。
受講生からは「歌ありお話ありで、楽しい1日でした。80代になって子どもにかえつ



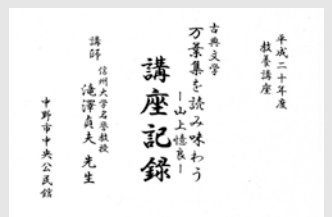
熱心に演奏に聞き入る受講生の皆さん

た気分です」「素晴らしい演奏で涙がにじんできました。がんばって1年間、受講しようと思えます」との感想が聞かれ、好評だった。
シニア大学は教養講座だけでなく、歌やコンサートのほか、「笑い」もある。中央公民館のほか、西部、北部、豊田公民館でも高齢者を対象にした通年講座を行っている。受講に関する問い合わせは、各公民館へ。

「万葉集を読み味わう」 が講座記録集に

平成二十年度教養講座「万葉集を読み味わう」(講師/信州大学 滝澤貞夫 名誉教授)の講座記録を冊子にまとめました。ご希望

される方に無料でお渡しします。お気軽に中央公民館へお立ち寄り下さい。



子ども育成事業事例集

「てまねき」

公民館、育成会等で子どもを対象にした事業二十四例題を一冊にまとめた子ども育成事業事例集「てまねき」が五月中旬に発刊されます。ご希望される方に無料でお渡ししますので、お気軽に中央公民館へお立ち寄り下さい。



こん にちは 分館

奥手山区は、中野市の北部、飯山市に隣接し、千曲川左岸に位置しています。JR飯山線が通っていて、鉄道ファンにとっては絶好のカメラスポットがあります。

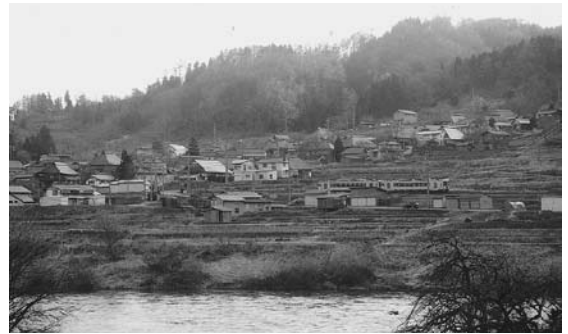
25世帯の小さな区ですが、子どもから大人、お年寄りまで、みんなで公会堂に集まって、食べたり話したり。楽しい文化祭が毎年行われています。

また、春と秋の年二回、ゴミ拾い清掃を行っています。全世帯がこの清掃に参加しますが、中には一

奥手山分館

の心の温かさがいつまでも続くように願っています。

家族総出の家も。みんなで国道117号沿いのゴミ、空き缶を拾っていきます。ゴミの分別や洗浄も含めると、半日もかかってしまいますが、この活動によって、国道沿いの景観が保たれています。



千曲川と J R 飯山線

ふるさととの歴史

奥手山とはヨイセツセ 誰名を付けたヨイセツセ
これが山なら里はない。
奥手山小唄の一節である。

ムラの入口付近は千曲川と旧国道や飯山線が走っている。一見この長閑なムラにもその昔、関ヶ原で戦死された人がいた。その人の名は宮本治郎左衛門さんである。

慶長五年(一六〇〇) 伝承によれば東軍に属する(真田)に従軍、還らぬ人となった。当時、宮本さんはムラの長を務める要職にあり、代表して出征されたと伝えられている。その霊礼を祀る祠がムラの西方台地にある。長い間ムラ

の年中行事として鎮魂の儀が行われていたが、戦後まもなく中止されている。

鎮魂の歌が残されている。「この丘の祠に偲ぶ関ヶ原 治郎左衛門眠りています」 またお隣の砦にも関ヶ原で

関ヶ原の戦士達

戦死された外谷さんがいる。明治の初期と聞く、砦のお宮に外谷多吉さんの名前を記した扁額がある。この外谷さんの遠祖に慶長の唄、作男に毛野川出身の外谷さんがいた。戦雲俄かに覆う関ヶ原、東軍より奥手山と同じく要員の

指示があった。ムラでは衆議の結果作男の外谷さんが選ばれた。「武運長久を祈る。凱旋の暁にはムラの一員として迎えたい」と激励をうけ出征、遂に還らぬ人となった。

(小林 修一)



宮本治郎左衛門の祠

編集委員 だより

安源寺分館は4月12日(日)、公会堂でお花見鑑賞会を開き、70人を超える区民が集いました。当日は快晴で桜も満開、絶好のお花見日和でした。

今年はお花見寄席として、

地元安源寺出身の永井康二さんと同級生の小崎学さんの若手漫才コンビ「ポチポチチャンネル」を招いての漫才を企画。「せうせつちや、いけねってせつても、せつちやう」と長野

の方言などをネタに、息の合った掛け合いで会場を笑いの渦に巻き込んでいました。生の漫才に、ときには大笑い、ときには失笑。「一日五回笑うと体にいいと聞いたけど、なかなか五回も笑えるものじゃない。今日はよく笑ったよ。」と参加した人が楽しそうに

話していました。

寄席の後は、ポチポチチャンネルの二人を交え、豪華？景品が当たるジャンケン大会に全員で参加。その後、大人たちはおでんをつまみにお酒なども飲みながら、おしゃべりに興じていました。公会堂の外では、子どもたちがわたあめを食べたり走り回ったりして楽しんでいました。

今年の笑いあふれる明るいお花見鑑賞会のように、区民の皆さんがまた集まりたくなるような交流の場をこれからも企画してほしいと思います。

(T2)



豪華景品が当たったジャンケン大会

今月の伝言板

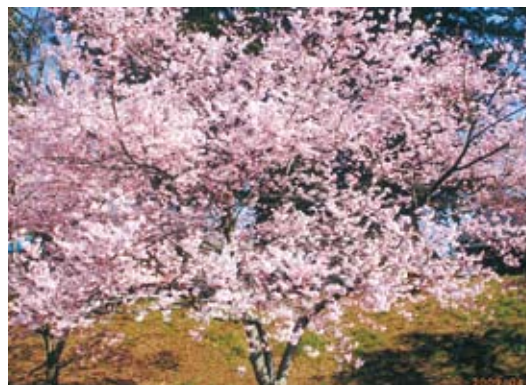
講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

	講座名	日時	講師	備考
中央公民館	ふるさと歴史探訪	・5/20・27・6/10・24 ・7/8 (全5回 毎回水曜日) 9時30分～11時30分 ・5回のみ9時から	檀原 長則 田中 毅 上原左之治 河野 実 阿部 敏明 の各先生	<定員>30名 <受講料>無料 <申込み>5月1日(金)から ※地域の史跡を訪れ、ふるさとの歴史を学び 先人を偲びましょう
	ガーデニング教室	6月5日(金) 10時30分～12時	青木 律子 先生	<材料費>1,000円 <定員>30名 <持ち物>園芸用はさみ、エプロン 作品持ち帰り用袋、又は箱 <申込み>5月11日(月)から
	家庭教育学級 楽しんで子育て	6月18日(木)～11月 10時～11時30分 (全9回予定)	テーマごとの 講師が担当	<定員>30名<場所>中央公民館 教室ほか <内容>子育てについての講演、おしゃべり会 ヨガなど ※託児あります <対象>育児中の方、これから育児をする方 <受講料>無料(食材費等の実費負担あり) <申込み>5月20日(水)から受付開始します
	料理教室	・6/19・7/17・9/18 ・10/16・11/20・12/18 (全6回 第3金曜日) 9時30分～12時30分	管理栄養士 上野 マリ子 先生	<定員>36名<食材費>3,000円 <持ち物>エプロン、三角巾、ふきん <申込み>5月20日(水)から
	源氏物語を 読み味わう	・6/23・30・7/7・14・28 ・8/4 (全6回 毎回火曜日) 10時～11時45分	信州大学 名誉教授 滝澤 貞夫 先生	<受講料>無料<定員>50名 <内容>第十帖「賢木」から読む <持ち物>「賢木」の原文が書かれている本 参考：小学館発行「源氏物語3 古典セレクション」 <申込み>5月11日(月)から受付開始します
北部公民館	子育て いきいきサロン	6月10日～9月 10時～12時 (全7回、第2・4水曜日)	テーマごとの 講師が担当	<定員>20名 <受講料>無料(食材費等の実費負担あり) ※託児あります <内容>子育て中の方・関心のある方が楽しく 学び合うサロンです。情報交換やお友 達づくりの場として気軽に。
西部公民館	親子で楽しむ 音楽と遊びのひろば	5月18日(月)～11月 10時30分～12時 (全13回 隔週の月曜日)	佐藤 陽子 先生他	<定員>なし<受講料>無料 <内容>みんなと一緒に歌ったり、踊ったりと という無理のない遊び感覚の教室の中 で親子のスキンシップを図ります。 <申込み>直接会場へお越しください
豊田公民館	思い出の歌	5月12日(火) 10時～12時	神田 加奈登 先生	<受講料>無料 <場所>豊田公民館
	川柳教室	・5/18・6/15・7/27 (全3回 毎回月曜日) 19時30分～21時	石田 一郎 先生	<定員>10名 <場所>豊田公民館 <受講料>無料
	太極拳	・6/4・18・7/2・16・30 ・8/6・20・9/3 (全8回 毎回木曜日) 19時30分～21時	小島 和英 先生	<受講料>無料 <定員>20名 <持物>汗拭きタオル、飲み物 <場所>豊田公民館 ※動きやすい服装
	はじめてのテーブル ガーデニング	・6/9・7/14・8/11・9/8 (全4回 毎回火曜日) 10時～12時	碓井 智子 先生	<定員>14名 <持物>エプロン、新聞紙、筆記用具、薄手の ゴム手袋、はさみ、作品を持ち帰る袋 又は、箱、カゴなど <場所>豊田公民館 <材料費>4千円、初回時に徴収



夕暮れ桜／浜津ヶ池(カッターール)



タカトオコヒガンザクラ／高梨氏館跡(黒岩)



ひと休み／旧中野高校(BOSS)

はなさと
花郷
Flower Home

牡丹の大輪／東吉田(長崎)



菜の花と電車／延徳(和田) ※H15撮影



花と季節の写真 募集

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限ります・四ツ切りまで(ワイドサイズも可)のプリント、デジタルデータ(未加工のもの)。
氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。
宛先は中央・北部・西部・豊田公民館
☎383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
☎22-2691(有線20691)
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

季節のコラム

中学校の入学式に列席する機会を得た。凜と静まりかえった体育館にプラスチックの演奏が響き、新入生が拍手に迎えられる入場する。
新入生のなんと初々しいことか。
まだ小学生の面影を残す新入生、迎える二年生や三年生からはもう大人の雰囲気を感じられる。
多感な三年間を同級生や先輩、後輩、先生方と過ごすことになる。
新入生に地域の期待は大きい。
中学校で過ごす三年間、おおいに切磋琢磨し人間を磨いてほしい。
また、私たち大人も他人の子どもと思わず、自分の子どもと同じ目線で見守って行きたいものである。